

2025年1月

- 5日 「みんなのNew Year Concert」観賞
- 8日 生成AIを活用した一般質問作成に関する勉強会
- 9日 議会運営委員会 傍聴 ※
- 11日 豊中市長杯・豊中南ライオンズクラブ杯 第45回豊中豊友少年軟式野球大会開会式
- 12日 消防出初式 新春上野フェスタ
- 13日 豊中市成人式 はたちのつどい
- 14日 児童相談所内覧会
- 15日 ハニーラボ☆カフェ
- 16日 議会運営委員会 傍聴 1月臨時会 本会議 ※
- 19日 大阪国際空港雪まつり
- 23日 空港問題調査特別委員会 視察 ※
- 24日 豊中子ども財団「新年合同研修会」
- 25日 前向きサロン(市政報告会)
- 28日 空港問題調査特別委員会 JAXA 視察 ※
- 29日 空港問題調査特別委員会 東京都庁 視察 ※



- 9日 前向きサロン(市政報告会)
- 11日 万博記念公園 視察
- 13日 交通インフラ調査特別委員会 傍聴 ※
- 17日 予算内示会 ※
- 21日 議会運営委員会 傍聴・3月定例会 本会議 ※
- 23日 上野連合自治会定例会
- 25日 庄内よつば学園 建設現場視察 ※
- 26日 認知症サポーター養成講座



2025年3月

- 1日 上野連合自治会役員会
- 3日 3月定例会 代表質問 ※
- 4日 3月定例会 代表質問 ※
- 6日 3月定例会 代表質問(大阪維新の会・無所属議員団) ※
- 7日 豊中市高齢者レクリエーション大会
- 10日 建設環境常任委員会 傍聴 ※
- 11日 市民福祉常任委員会 傍聴 ※
- 12日 文教常任委員会(神原在籍) ※
- 13日 総務常任委員会 傍聴 ※
- 20日 豊中市春季少年野球大会開会式
- 21日 議会運営委員会・3月定例会 本会議 ※
- 22日 豊中市・隠岐の島町学童野球親善交流式典
- 23日 上野連合自治会定例会
- 27日 児童相談所開所式 一時保護施設内覧会



2025年2月

- 1日 上野地域子ども教室(野鳥観察会)
- 3日 会派視察(宮崎県都市) 視察
- 4日 会派視察(宮崎県延岡市) 視察

収支報告

2025年1月～3月分

収入	
議員報酬	¥1,905,000
合計	¥1,905,000
支出	
所得税	¥161,130
議員団費	¥9,525
事務所費用へ	¥900,000
生活費	¥834,345
合計	¥1,905,000

(注1) イベント参加費・カンパなど
(注2) 勉強会参加費など

神原事務所 2025年1月～3月分

収入	
前月繰越残高	¥2,679,660
神原宏一郎議員報酬より	¥900,000
その他(注1)	¥2,383
合計(1)	¥3,582,043
支出	
家屋費(イベント会場含)	¥226,536
光熱費	¥19,104
通信費	¥19,212
印刷費	¥37,370
備品費	¥0
消耗品費	¥328
交通費	¥0
人件費	¥431,550
その他(注2)	¥51,265
合計(2)	¥785,365
次月繰越(1)-(2)	¥2,796,678

インフォメーション

明日への架け橋
(前向きサロン)

日時: 4月20日(日)
午前: 10時～12時
場所: 堀田会館2階第1料理室
(阪急バス豊中高校前から徒歩5分)
参加費: 無料
主催: 前向きひろば

参加者皆さまと情報共有・意見交換出来ればと思っています。
気軽にご参加ください!!

神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町3-1-20 エルビル2階
TEL&FAX: 6854-5664

平日(土・日祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://positive-square.sakura.ne.jp/

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。

発行元 大阪維新の会・無所属議員団(神原所属会派)

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 ☎6858-2525(代表)



前向きひろば 神原宏一郎事務所



豊中の未来を描こう!!

発行 2025年 春号

神原宏一郎の
つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

VOL. 222

今任期も
折り返しを
迎えました

豊中市議会議員
無所属



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

3月定例会・代表質問と答弁

①公園大改革～市民ニーズに応え、新たな魅力の創造を!!～

Q.公園大改革の具体的な内容は?

公園大改革はどれくらいの期間で、具現化や達成を図るのか?

A.大規模公園での屋根付き広場やパークカフェ等の新たな機能の導入、公園施設の美装化等によるブラッシュアップとベンチの増設、地域ニーズ等を踏まえた機能や利用方法の見直し等。公園大改革は、単年度で完結するものではなく、公園の新たな展開として重点的に継続し、早期に実現を図っていく。

Q.大屋根やパークカフェ等は、いつ頃の設置を予定しているのか?また、設置対象となる公園は?

A.大屋根は、日差しによる暑さや雨をしのぐことができ、一年中、天候の影響を気にせず憩える場となることをねらいとし、令和8年度から順次設置予定。パークカフェは、令和7年度から順次設置予定で、設計・施工に要する期間は1年程度を想定。大屋根やパークカフェ導入は、大規模公園を対象とし、現在のところ、『ふれあい緑地』、『豊島公園』、『豊中つばさ公園 ma-zika』の3公園を予定。

Q.地域ニーズの把握や集約はどのように行い、具体的に機能や利用方法をどのように見直すのか?見直しには、ほとんど利用されていない公園の集約化や統合なども想定されているのか?

A.地域ニーズの把握や集約は、意見交換会やワークショップなど、様々な方法を想定。対象は原則全ての公園を想定しているが、地域の意思決定の際は、地域の意思を代表する一定の組織の対応が必要と考えている。現状、ほとんど利用されていない公園もあるが、集約化や統合の前に、そういう状態になっている要因を見定めた上で、公園機能の再配置を進め、多様な機能を担保する方策を探っていく。

★意見・要望★

大屋根やパークカフェ等は、大規模公園のみの設置や導入を計画されているが、設置後の公園利用者の意見や利用状況を踏まえながら、他の市内の公園への導入や設置にも繋がっていくような利用者の増加や賑わいが見られることを大いに期待したい!!一方、幅広い層の多様な公園の利用を促進するため、地域ニーズ等を踏まえ、公園の機能や利用方法を見直すことは非常に重要かつ必要と考える。地域ニーズの把握や集約は容易なことではないが、様々な手法や媒体を用いて、市民の方々のニーズの把握や集約に努め、市内の公園の利用価値や魅力の向上、さらにはまちのイメージや魅力の向上につなげて欲しい!!

代表質問の全容はホームページをご覧ください。

http://positive-square.sakura.ne.jp/

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス: young_spiritjp@yahoo.co.jp

3 月定例会・代表質問と答弁

②職員の居住地～職員の市内居住率向上を目指して！！～

Q. 本市職員の市内居住率は？

A. 本市職員の市内居住率は、ここ3か年は約**47%**でほぼ横ばいで推移している。

Q. 災害時や緊急時等の迅速な出勤や参集、地域社会に密着した形での勤務といった点などを重視し、市内居住を推奨している自治体もあるが、職員の居住地についての見解は？

A. 危機管理や地域への関わり方など、職員が市内に居住することには一定のメリットがあると考えている。市内居住を促す取り組みとしては住宅手当の市内加算制度があり、賃貸住宅を借りて市内に居住する職員に対し、通常の住宅手当に3000円を加算して支給している。

Q. 職員の通勤手当の支給限度額を現行の5万5千円/月から15万円/月まで引上げる条例提案がなされたが、職員一人あたりの通勤手当額の月額平均の推移は？

1か月の通勤に現行の上限額55000円を超えて交通費がかかっている職員はどれくらいいるのか？

A. 通勤手当額の推移は職員一人あたりの月額平均で令和4年は約8100円、令和5年は約8300円、令和6年は約8480円。現時点でひと月当たりの通勤手当額が現行の上限額を超える職員はいない。

Q. 通勤手当の支給限度額を引き上げるよりも、本市に住民税を納め、通勤手当等の市の財政への負担も少ない本市在住職員への手当の増額を検討する方が良いのではないかと？

A. 通勤手当の改正は、人事院勧告に基づくもので、介護や育児等の事情で転居が必要な職員が離職せずに働き続けられるよう、また、転職市場の活発化をふまえて人材をより広く集められるよう、取り組むものである。併せて、市内居住も促進するため、住宅手当の市内加算も引き続き実施し、新規採用職員への制度のPRも行っていく。

★意見・要望★

介護や育児等の事情で転居が必要な職員が離職を余儀なくされるのは、通勤手当の負担ではなく、介護や育児等との両立の困難さや負担が要因と考える。また、人材をより広く集められるとのことだが、通勤手当の上限額を月15万円（年180万円）にまで引き上げないと、優れた人材の確保が困難な状況にあるとは思えない。むしろ、180万円あれば、臨時職員等を1名雇用した方が良いのではないかと考える。そもそも、**通勤手当の上限額の引き上げよりも、市内在住職員への住宅手当の加算の増額など、職員の市内居住率の向上につながる制度設計や予算措置をするべき！！**

③窓口の簡略化の進捗状況と課題～市職員の業務改善にもつなげるべき！！～

Q. 自治体窓口 DX は、窓口で書かない、待たない、迷わない、回らない、窓口に行かないといった市民の手間や負担、不安を軽減、解消する目的で進められているが、本市の進捗状況と課題は？

A. “書かない、待たない”窓口としては、『事前申請システム』、“迷わない”窓口としては、『手続き案内サービス』、“回らない”窓口としては、総合窓口の設置などを進めてきた。その結果、保育所や放課後子どもクラブの入所入園申込など、子育て分野の手続きはほぼ全てがオンラインで手続きされている。一方、各種証明書のコンビニ交付率は約**4割**、事前申請システムの利用率も約**4割**、手続き案内サービスの利用率は約**2割**で、いずれも利用率に課題がある。オンライン化が進まず、オンラインと紙の申請が混在する手続きは、効率化の効果が限定的となっているため、オンライン手続きの利便性を高め利用率を向上させていくことで、さらなる業務の効率化につなげていく。

★意見・要望★

オンライン手続きの利用率の低迷は、職員の事務負担の増加をもたらしている。職員の業務効率を高めるためにも更なる周知と共に、市民の意識や認識の变革や醸成に努めて欲しい！！

④戸籍法改正による効果と課題～市民の利便性向上の裏で、市職員は疲弊！？～

Q. 戸籍法改正の背景や経緯、ねらいは？

A. 手続きを簡素化し、利用者の負担を軽減し、戸籍制度の利便性を向上させることが目的。実際、市民が婚姻届など戸籍届書提出時に添付していた戸籍の証明書が不要になるなど、利便性が向上している。一方で、戸籍情報連携システムの確認作業や他市区町村本籍の証明書発行など、職員には新たな業務負担が生じている。

Q. ふりがな法制化の概要は？

A. 令和7年5月26日より順次、本籍地の市区町村より、戸籍に記載される「仮のふりがな」が通知され、1年間の届出期間が設けられる。なお、通知した「仮のふりがな」と「現に使用しているふりがな」に相違がない場合は、届け出は不要。

Q. ふりがな法制化に伴い、各自治体には膨大かつ多岐にわたる業務の発生が想定されるが、どの程度の作業や業務の増加を見込んでいるか？

A. 令和7年6月以降、豊中市に本籍のある方に対し、「仮のふりがな」を通知する予定。発送件数は最大約32万件になる見込み。発生する業務は、通知書の印刷及び封入封緘、発送、届書の受付業務。届け出が不要な方が相当数と推測されるので、市民への分かりやすい周知が課題と考える。

Q. 民間企業を活用し、業務の効率化や職員の負担軽減を図ることは、検討しているのか？

A. 「仮のふりがな」通知書発送業務については委託で行い、コールセンターについては新たに設けず、本市の総合コールセンターで対応予定。

★意見・要望★

改正戸籍法の施行により、行政手続きが簡素化され、市民（利用者側）の負担は軽減され、戸籍制度の利便性は向上しているが、市職員（対応する側）の業務負担は明らかに増えている。**利用者側の利便性と共に、対応する側の利便性や業務効率の向上にも注力すべき！！**

⑤カスハラ対策～社会全体で積極的な取り組みを！！～

Q. カスハラは、顧客からの過剰な要求や暴言、威圧的な態度などを指し、その事例は増加傾向にある。企業だけでなく、行政もカスハラ問題に積極的な対策を講じるなど社会全体で解決すべき課題と考えるが、市の見解は？

A. 現在、市として、労働相談の項目としてカスタマーハラスメントを扱っているが、今後、企業向けの研修テーマとしてカスハラの研修を企画するなど、国や他自治体の動向も注視しながら、施策を考えていく。

Q. 市職員がカスハラを受け、精神疾患になったり、休職を余儀なくされたりすれば、個人にとっても、組織にとっても大きな損害と考える。そこで、新たな技術やツールを活用するなどして、積極的に職員へのカスハラ対策に努めていくべきと考えるが、市の見解は？

A. 職員が働きやすい職場環境を作るため、ハラスメント対策は必要不可欠と認識しており、職員個人に問題を抱え込ませず、組織として対応することを共有している。また、業務の公正かつ適正な執行や職員の安全確保等のため、本庁舎で約150台の電話に『通話録音装置』を設置している。今後も、他市事例等を参考にしながら、ハラスメント対策の取組みを進めていく。

★意見・要望★

カスハラに限らず、様々なハラスメントにより、市職員が精神疾患になったり、休職を余儀なくされれば、本人にとってはもちろんのこと、市にとっても、市民にとっても大きな損害である。今後も、他市事例等を参考にすると共に、不断の努力でハラスメント対策に尽力して欲しい！！

🐦 その他にもこのような質問をしました 🐦

🎵 災害に強いまちづくり 🎵 大阪国際空港の運営 🎵 消防行政 🎵 中学校部活動の今後の方向性
🎵 市立豊中病院の経営 🎵 地域経済の活性化 🎵 若者チャレンジらぼ 🎵 多世代交流 etc